

第3回 日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議

日時：令和7年 2月 6日（木） 14:00～
場所：日田市立淡窓図書館 2階研修室

次 第

1 開会

2 議事

(1) 今までの会議議事録・要点と子どもアンケート結果報告

- ・第1回、第2回議事録・要点 資料1
- ・子どもアンケート集計結果と総括 資料2
- ・論点④子どもたちにとっての図書館とは 資料3

(2) 意見交換

- ・議事(1)に対する意見及び視察の感想
- ・目指す図書館像（素案） 資料4

(3) 今後のスケジュールについて

- ・今後のスケジュール 資料5
- ・第4回市民検討会議 令和7年 3月「書面協議」
- ・第5回市民検討会議 令和7年 月

3 その他

4 閉会

第1回会議議事録の概要・要点

日 時：2024/07/18 14:24～16:29

場 所：淡窓図書館 2階研修室

出席者：14名（欠席者：0名）

◆全ての委員の意見内容まとめ

以下に議事録の中で述べられた全ての委員の意見を簡潔にまとめます。

●委員

- ・委員の任期に関する確認
- ・校区外の子どもたちが自分たちで図書館に行けない課題を指摘

●委員

- ・子どもが学校図書室を図書館と思い、淡窓図書館を認識していない可能性がある
- ・親に淡窓図書館に連れて行ってもらったことがない子どもたちは多いと思う

●委員

- ・日田の教育や探求熱心な人物・歴史に触れる
- ・子どもの勉強スペースの改善と図書館の利用時間延長を提案
- ・デジタル化と本のバランスの重要性
- ・地域の将来を見据えた夢のある方向性を提案

●委員

- ・図書館は「行きたいと思える場所」であるべき
- ・子どもや親が利用しやすい環境の整備を提案
- ・漫画の導入や日田杉の活用、読書通帳（印字電子化）を提案

●委員

- ・保護者が小さい子供を連れて行きにくい図書館の現状を指摘
- ・図書館の取組やイベントの周知など情報発信不足ではないか
- ・本棚の配置やスペースの改善を提案

●委員

- ・建物の改修でも、中は自由に変更が可能なので皆さんの自由な意見を歓迎

●委員

- ・高齢者の利用が難しい現状と移動手段の課題を指摘

●委員

- ・学習スペースに仕切りがあると良いという提案

●委員

- ・子どもアンケートの内容について質問
- ・子どもアンケート結果の共有を希望

●副委員長

- ・武雄図書館が日田市では参考にならない理由の説明を要望 ➡ ■事務局の意見

●委員

- ・図書館に行く理由がないとの保護者の声があることを指摘
- ・行く理由があれば、図書館に行くことになるだろうし、目指す方向性が見えてくる
- ・空間照明の改善や書棚の配置、スペースの見直しを提案
- ・事務局で図書館の未来像を示してもらうほうが議論がしやすい ➡ ■事務局の意見

●委員

- ・武雄図書館に行きたかった
- ・勉強しながら話ができるスペースや静かな部屋など内装改善や日田杉の活用を提案

●委員

- ・障害者が利用しやすい図書館の必要性を指摘
- ・児童スペースや勉強スペースの配置改善、バリアフリーや音も楽しめる環境整備を提案

■事務局の意見内容まとめ

1. 施設の現状とリニューアル

- ・建て替えの可能性は、市の財政状況を踏まえると、新築は困難であるため、改修やリフォームが現実的な選択肢。
- ・機能面の充実を優先し、市民の意見を取り入れながら可能な範囲で改修を進めたい。
具体的には、子ども専用の静音室や授乳室の設置、1人用の学習スペースなど利用者のニーズに基づく空間設計の改修。また、書架や設備のレイアウト変更で使いやすさを向上させる。

2. アンケートの実施と市民意見の反映

- ・過去のアンケート結果（令和元年度）を参考に、現状のニーズを把握する。
- ・今回のアンケートは、子ども（小中学校）を中心に実施。保護者向けのアンケートについては将来的に検討する意向。

3. 観察先の選定理由

- ・ 指定管理ではなく身の丈に合った運営や、住民協働による図書館の取組を重視したため。
- ・ 住民協働の取組を参考に、利用促進策やサービス向上につながるヒントを得るため。
- ・ 現在は窓口業務を一部民間に委託しているが、完全な指定管理（民間運営）には移行しない方針（武雄市を観察先に選択しなかった理由もある）

4. 利用拡大の方策

- ・ 来館が困難な高齢者や遠隔地住民への対応として、既存サービスの改善が必要。
- ・ 子どもや障がい者向けに、利用しやすいスペース作りやバリアフリー設計は重要。

5. 図書館の未来像

- ・ 将来の図書館像は、この会議をもって皆さんと検討していきたいと考えている。
- ・ 日田市の財政状況に見合った運営体制を維持しつつ、柔軟なサービス展開を目指す。

まとめ

- ・ 事務局は、限られた予算の中で施設やサービスを改善し、市民の多様なニーズに応える図書館運営を目指しています。

●委員長の意見と総括

委員長は、図書館の「あり方」を検討する段階であることを強調し、図書館の現状と課題、期待される図書館のイメージなど幅広い意見を拝見した上で、以下を総括しました。

- ・ 新築は市の財政上難しいが、可能な範囲での改修案やサービスの充実を検討する。
- ・ 特に「子どもが楽しく過ごせる空間」や「高齢者・障がい者に優しい空間」の構築を重視。
- ・ 観察やアンケートの結果を基に、図書館の機能として欠けている部分などを改善していく。
- ・ 図書館に来たことがない人のニーズも聞くべきではないか。
- ・ 行政主導でなく、市民参加を促す形で多様な声を反映する必要性を指摘。
- ・ ICT活用やデジタル技術も取り入れながら、図書館を発展させる。
- ・ 都市部・中山間部を問わず、全市民が図書館の恩恵を受けられる仕組み作りを目指す。
- ・ 設置要綱の規定により第2回よりオブザーバーの出席について異議なしと認める。

◆結論・まとめ

- ・ 新築ではなく現施設を活用した改修・リニューアルを基本とするが、子供向け学習スペースなど、多様な機能を持たせることで利用者層を広げる。
- ・ 高齢者や障がい者に配慮したバリアフリー設計。
- ・ 誰でも気軽に利用でき「行きたいと思う」仕組みや機能の導入。
- ・ ソフト面の充実（デジタル化、読書記録の可視化、日田杉の活用）。
- ・ 「行く理由」を提供するための施設機能強化（サイレント部屋、イベントの充実など）。

第2回会議議事録の概要・要点

- ・日時：2024年10月24日 14:13～16:35
- ・場所：淡窓図書館 2階研修室
- ・出席者：14名（欠席1名）

◆全ての委員の意見内容まとめ

以下に議事録の中で述べられた全ての委員の意見を簡潔にまとめます。

●委員

- ・図書館利用者に本の取り寄せサービスを周知していないと感じた。
- ・図書館の分散拠点を日田市内に数か所設置できないか提案。
- ・郷土資料や図書のデジタル化の必要性を指摘。

●委員

- ・淡窓図書館との学校連携（巡回図書や調べ学習支援）を報告。
- ・子どもたちが読みたい本を淡窓図書館から借りれる仕組みづくりを提案。

●委員

- ・図書館を地域づくりの拠点であるべき必要性を主張。
- ・日田特有の歴史・文化を活かした図書館の役割を提案。
- ・学びと出会いの場として、図書館の魅力を高める重要性を強調。
- ・別の公共施設で講演会など図書館主催事業をやってもいいのではないか。

●委員

- ・子ども連れが利用しやすいスペースや設備（消音マットなど）の設置を提案。
- ・学習スペースや個人利用スペースなどスペースの確保を皆さん希望している。

●委員

- ・親子連れが利用しやすいスペースや声を出してもよい時間帯設定などを提案。
- ・子どもが声を出しても気兼ねなく利用できる環境が必要。
- ・SNSで図書館の本の情報をもっと発信したらよい。

●委員

- ・市民協働など皆さんといろんな意見を出し合ってやっていきたい。
- ・高校生との対話の場を設ける予定があることを報告。

●委員

- ・ 映像（映画）を活用して、読書への興味を引き出す企画を提案。
- ・ 子どもたちの読書習慣を育てるきっかけづくりが必要。

●副委員長

- ・ 図書館に来ない人の声を拾い上げる重要性を強調。
- ・ 図書館の職員が地域へ出向く必要性を提案。
- ・ 電子書籍はコスト高になるし、児童書が少ないなどの問題を指摘。
- ・ 郷土資料のデジタル化は今後必要であり、データ化すれば、県のサーバに格納公開できる

●委員

- ・ 図書館のビジョンマップ（例；外で遊ぶ子ども、フリースペースで何かしている）の絵で見える化したら議論が進むことを提案。
- ・ 宿泊施設やカフェ事業所に本を貸し出して、町全体が淡窓図書館みたいな形を提案。
- ・ 日田杉をふんだんに使ったベンチや待合所スペースで人が集まる場づくりを提案。
- ・ 子どもや高齢者へ読み聞かせイベントなど、人ととの触れ合いや交流を深めることをビジョンに盛り込むことを要望

●委員

- ・ 学校や保育園と連携し、本の貸し出しを促進する仕組みを提案。
- ・ 子どもたちが気軽におしゃべりができる楽しめる環境づくりを要望。
- ・ 令和元年度アンケートで高校生に質問していない設問があるが、どういう意図なのか

●委員

- ・ 図書館に来れない校区外子どもの理由に焦点を当て、外に出向いて行くべきと主張。
- ・ 他の分野との連携（例：ひたはしり号で読み聞かせイベント）など、来るきっかけづくりが必要。
- ・ 利用者層に応じたスペース、集中できる個室の空間など、スペースがキーワード。

◆オブザーバーの意見

1. 図書館の課題と解決策

- ・ 音の問題は、「タイムシェアリング」（時間帯に応じた利用区分）を活用して解決可能。
また、家具配置の工夫で音漏れの軽減を提案。
- ・ スペースの柔軟性
固定した施設や部屋ではなく、家具の配置を変更可能な設計が望ましい。

2. 地域づくりと図書館

- ・ まちづくりの中心としての図書館
地域の知的拠点として、図書館をまちづくりの核に据えるべき。

- ・アーカイブ（郷土資料の保存・活用）の充実を提案。
小平市中央図書館のように、アーカイブ専門のフロアを設置する事例を紹介。
- ・「まちじゅう図書館」の可能性
- ・分散型図書館の一例として、地域のカフェや商業施設に本を置き、司書的役割を担う店主との連携を提案。
- ・コミュニケーションのツールとして本を活用する取り組みが有効。

3. 利用者ニーズの多様化

- ・利用者の世代別対応
20代～40代の利用者増加を目指し、利便性や職員の接遇を改善する必要性を指摘。
- ・長時間滞在できる空間作りが高評価を得ていることを説明。
- ・子どもや親子向けのサービス充実が重要であることを強調。

4. 電子書籍に関する課題

- ・電子書籍のコストやメーカーの互換性の問題を指摘（特に単価が高く、児童書が少ない）。
- ・電子書籍の導入は、紙の書籍と併用するハイブリッド型が現実的。

5. 図書館の理念とビジョンの重要性

- ・図書館を作る際には、まず理念を明確化し、それに基づいた基本構想・基本計画を策定することが重要。
- ・建築（リノベーションか新築か）はビジョンに基づいて判断すべき。
- ・新築とリノベーションのコストが同等になる場合もあるため、目的に応じた議論が必要。

6. 他図書館の事例紹介

＜福岡県福智町立図書館＞

- ・中学生が自主的に参加し、意見を反映した図書館づくりの成功事例を紹介。
- ・壁新聞や模型を活用したコミュニティとの協働の事例を提案。

＜佐賀県基山町立図書館＞

- ・地域全体で図書館を活用する取り組みが参考になると指摘。

7. その他の意見

- ・本を入口とせず、他のイベントや活動を通じて図書館への関心を引くことを提案。
- ・元気な町ほど図書館満足度が高いとの調査結果を紹介。
- ・議論の進め方は、具体的な構想を市民や関係者と共有しながら進めるべきと助言。

■事務局の意見

1. 令和元年度アンケート結果と課題

- ・市職員や高校生など、図書館を普段利用していない層へのアンケートは実施できていない。結果として、幅広い意見の収集が課題。

- ・高校生に質問しなかった設問は高校生が回答しにくい内容と判断（当時担当の見解による）

2. 他館との連携・サービス提供

- ・他館からの資料取り寄せサービスは、館内での案内が不足している。利用者が申し込み用紙で希望を記載すれば、購入や他館からの取り寄せが可能。

- ・県内の図書館の間では、県立図書館を通じて相互貸借が可能。送料は県立図書館が負担しているが、県外の図書館とのやり取りでは利用者の送料負担が必要。

3. 図書館運営方針とビジョン

- ・現在の図書館運営方針は要覧に記載されているが、今回の市民検討会議において「目指すべき図書館像」を作成していきたい。

- ・ビジョンの設定はまだ具体化していないが、リニューアルに縛られず、自由に意見を出し合い、その中から将来的な方向性を構築したい。

4. 学校や地域との連携

- ・学校との連携として「巡回図書」や「調べ学習用の本の提供」などを実施。配本や貸し出しに関しては、学校側の意見を踏まえつつ改善の余地がある。

- ・保育園や地域の施設への図書提供（団体貸出）についても、今後、検討していきたい。

5. デジタル化の取り組み

- ・電子書籍サービスの導入については、他の自治体の事例を参考にしたいが、現状ではコストやライセンス不足の問題があるため慎重に進める必要がある。

6. リニューアルの方向性

- ・新築は難しいけれども、リニューアルに縛られない自由な意見を言っていただきたい。

- ・施設や機能の具体的な改修に関しては、予算や現行の建物構造は考慮しつつ、市民の意見を最大限に反映することを目指したい。

まとめ

- ・事務局の意見は、淡窓図書館の課題解決に向けた基盤整備（アンケート結果の活用、他館との連携強化、地域・学校との協力）と、デジタル化やリニューアルの方向性についても柔軟に対応する意向であり、今後の検討会議を通じた図書館像（ビジョン）の構築に重点を置いている。

◆委員長の意見と総括

- ・スペースや空間のニーズをどう生かすのか、待ちの図書館ではなく、町に出向いていく、町のあちらこちらに図書館の本があってもいい、イベントをやってというような意見がありました。
- ・各論ではなく、図書館のビジョンや構想みたいな方向性を出すのがこの会議の趣旨である。
- ・高校生や中学生の生の意見を聞くのがいいのではないかと皆さんの意見を聞いて個人的には思う。

総括

議論を通じて、淡窓図書館のリニューアルは単なる施設改修にとどまらず、「市民全体が利用しやすく、地域の知と文化を支える拠点」として再生することが求められている。

特に、利便性向上と新たな利用者層の開拓を図るための工夫や、視察先図書館の特色である市民参加型の図書館事業をどう捉えるのか、子どもアンケートの意見など、これらを踏まえ、次回の会議では具体的なビジョンマップを用いるなど、議論を深めることが期待されます。

◆結論・まとめ

1. 利用者拡大のための戦略

- ・利用していない層への働きかけや、新たなサービスの検討。
- ・図書館に行く理由・行きたくなるきっかけとは何か
- ・利便性の向上（分散化、出向図書サービス）。

2. 施設の改善

- ・音や空間に配慮した設計（子ども連れや障害者への配慮）。
- ・多世代が利用できるスペースの適正な配置。
- ・地域文化や歴史の発信拠点としての機能の充実（地域資料のデジタルアーカイブ化など）

3. 図書館像（ビジョン）の必要性

- ・地域の知の拠点として、まちづくりや教育、生涯学習に貢献する図書館像をまとめる。

今後のアクション

第1回と第2回の議論のまとめ（事務局作成）、視察の感想、子どもアンケート結果（事務局作成）を踏まえ、図書館像（ビジョン）の素案を議論する。

淡窓図書館の利用に関する子どもアンケート集計結果

令和7年1月
日田市立淡窓図書館

1. 調査の目的

本アンケートは、淡窓図書館を地域の情報発信拠点として、より身近で利用しやすい施設にするため、また、図書館に対するイメージやニーズを把握するため、小中学校の児童及び生徒に対し実施したものです。

2. 実施期間

令和6年8月～9月

3. 調査対象・回答率

小学校(4、5年生)、中学校(1、2年生)

計 2,094名 → 回答者数 1,697名【回答率 81.0%】

4. 調査方法

タブレットからインターネット(URL)アンケートページにアクセスし、回答を入力

5. 集計結果

Q1. あなたが通っている学校名を選択してください (選択は1つ)

- 咸宜小
- 桂林小
- 日隈小
- 若宮小
- 三芳小
- 高瀬小
- 光岡小
- 朝日小
- 三和小
- 有田小
- 小野小
- 大明小
- 石井小
- 前津江小
- 津江小
- 大山小
- 東渓小
- いつま小
- 東部中
- 三隈中
- 南部中
- 北部中
- 戸山中
- 東有田中
- 大明中
- 前津江中
- 津江中
- 大山中
- 東渓中
- 五馬中

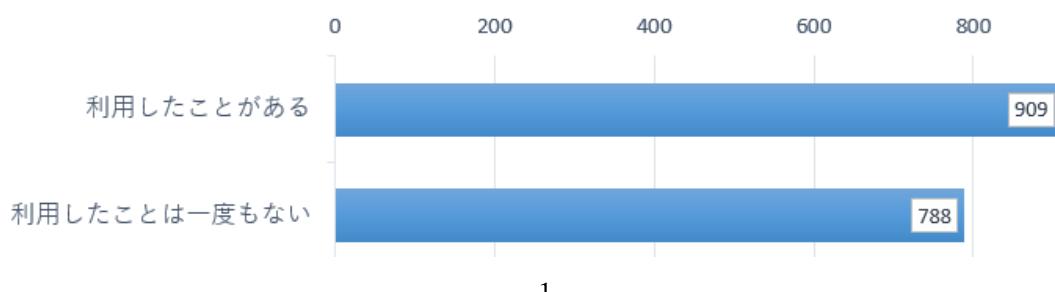
回答: 1,697件【回答率 81.0%】

Q2. あなたは、この1年間に図書館を利用したことがありますか (選択は1つ)

- 利用したことがある→Q3.へ
- 利用したことは一度もない→Q7.へ

Q2.図書館の利用の有無

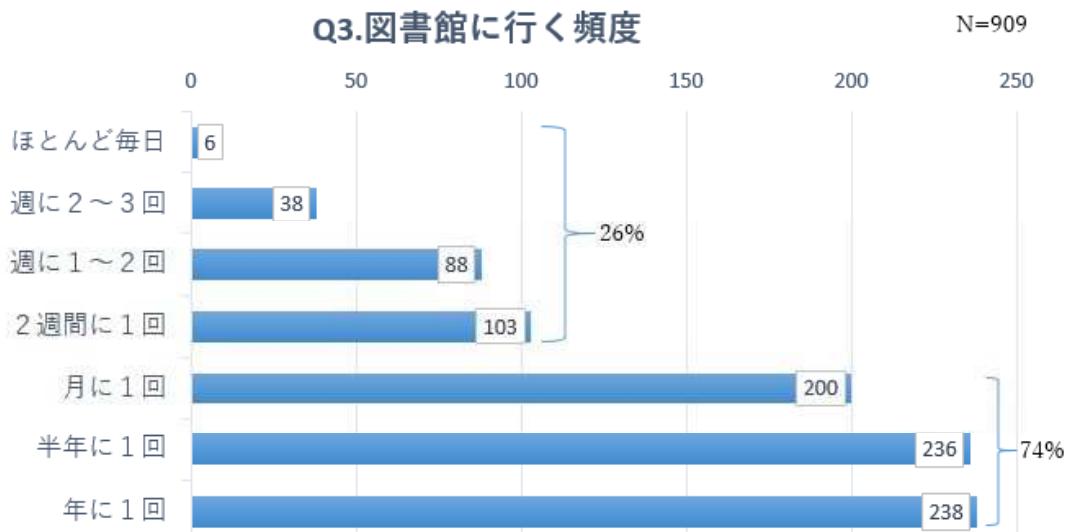
N=1,697



<Q2.考察>

校区外の児童が多いため、利用したことは一度もないが利用したことがあるを上回ると予想されたが、利用していることが多いことが分かった。また、利用したことがない中でも、Q9.意見・要望にはかなり多くの意見・要望があった。

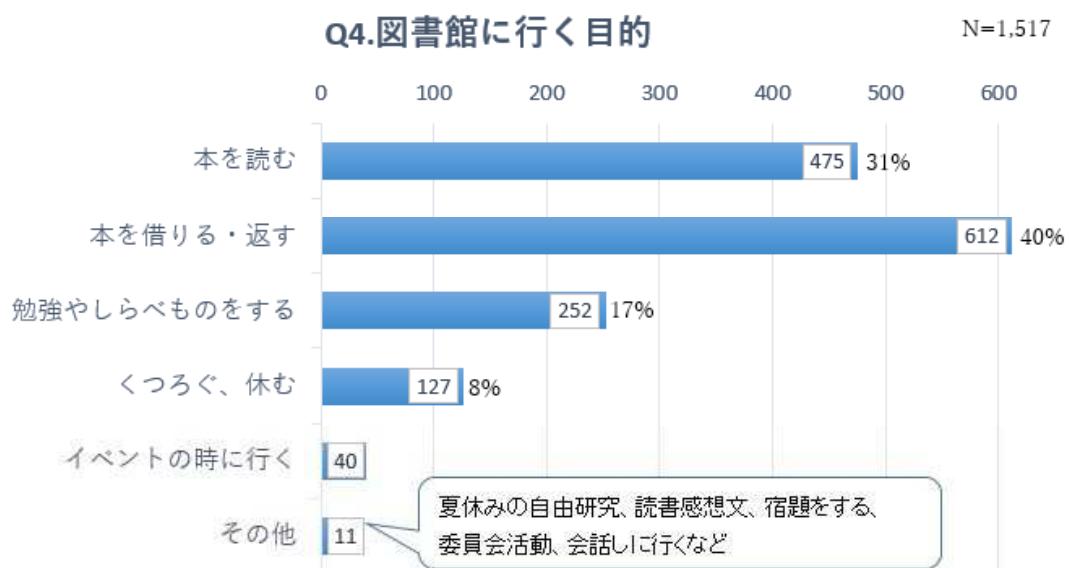
Q3. 図書館にはどのくらい行きますか（選択は1つ）



<Q3.考察>

回答(909件)のうち、月、半年、年に1回と利用頻度の低いのが74%、ほとんど毎日から2週間に1回と利用頻度の高いのは26%であった。

Q4. 図書館に行く目的は何ですか（選択はいくつでも）



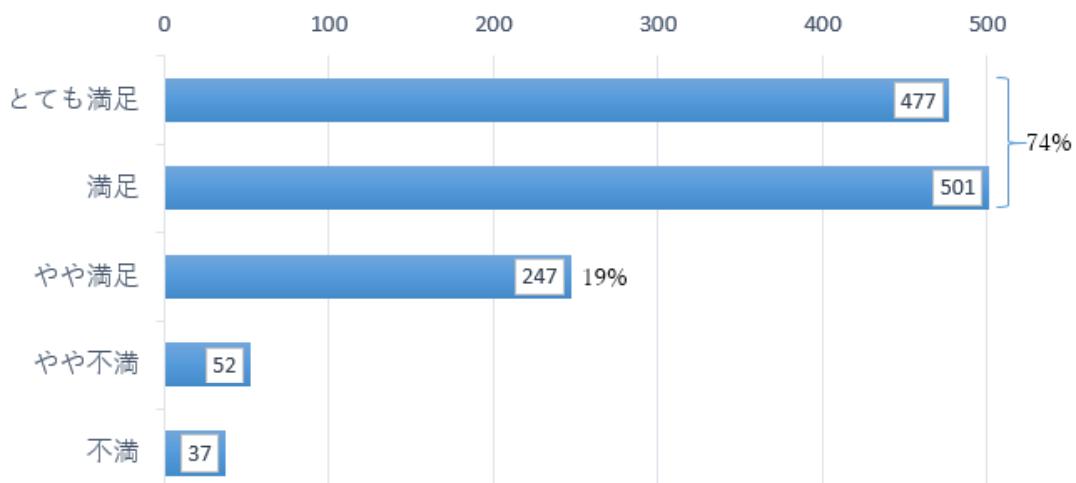
<Q4.考察>

本を借りる・返すが40%と最も多く、次いで本を読むが31%、勉強やしらべものをするが17%であった。

Q5. 今の図書館に満足していますか（選択は1つ）

Q5.図書館の満足度

N=1,314



<Q5.考察>

「とても満足」「満足」が74%、「やや満足」が19%あり、9割は満足していることがわかった。

Q6. Q5.で、やや不満または不満と回答した方へお聞きします

不満の理由は何ですか（文字を入力してください）

不満の理由	件数	N=85
行ったことがない	11	
わからない、特にない	10	
読みたい本がない	9	
図書館が遠い	8	
本の場所がわからない、本を見つけにくい	5	
本を読むのが好きではない	5	
静かすぎる	5	
漫画が少ない	5	
楽しくない、面白くない	4	
行かない、めんどくさい	4	
うるさい人がいる	4	
声を出せない	3	
その他（トイレや本が汚い、ゆっくりできない、学習室がせまい、人が多いなど）	12	

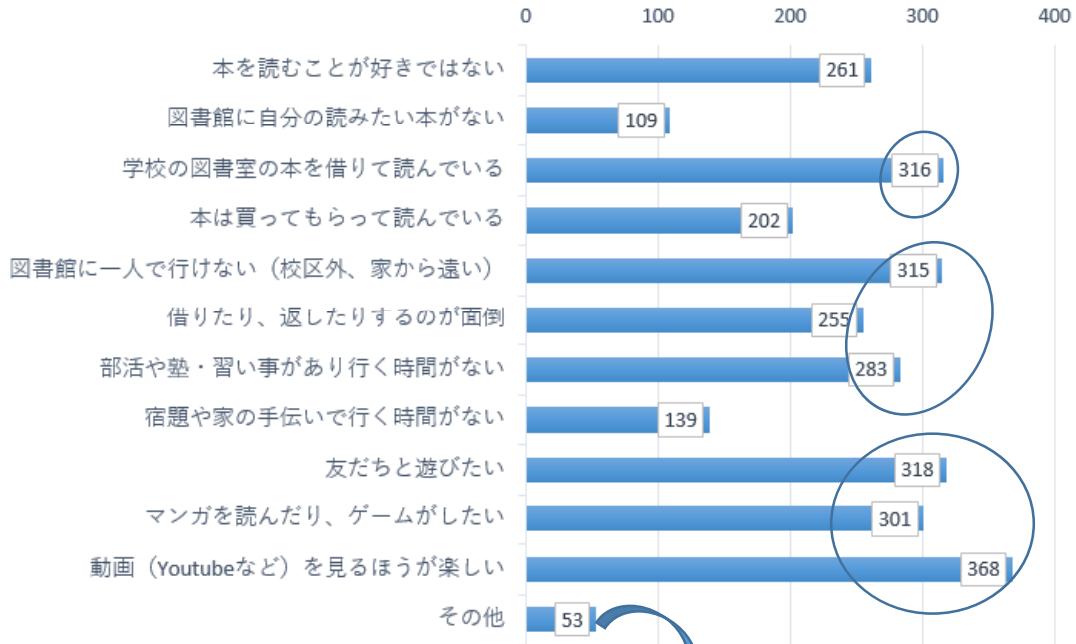
<Q6.考察>

「行ったことがない」「わからない、特にない」「読みたい本がない」「図書館が遠い」など、図書館に来たことがない、来れないと思われる不満が約半数を占めている。

Q7. Q2.で、利用したことは一度もないと回答した方へお聞きします
あなたが図書館を利用しない理由は何ですか（選択はいくつでも）

Q7.図書館を利用しない理由

N=2,920



図書館を利用しない理由（その他）	件数
行く時間がない、行けない	12
行く気がない、めんどくさい	10
わからない、特にない	7
図書館が遠い	6
図書館がどこかわからない	4
本屋で買う、スマホで読む	2
借り方がわからない	2
借りようと思わない	2
本が汚い、触るの抵抗がある	2
その他（たくさん人がいる所が嫌い、静かな所が苦手、依然借りたが延滞したなど）	6

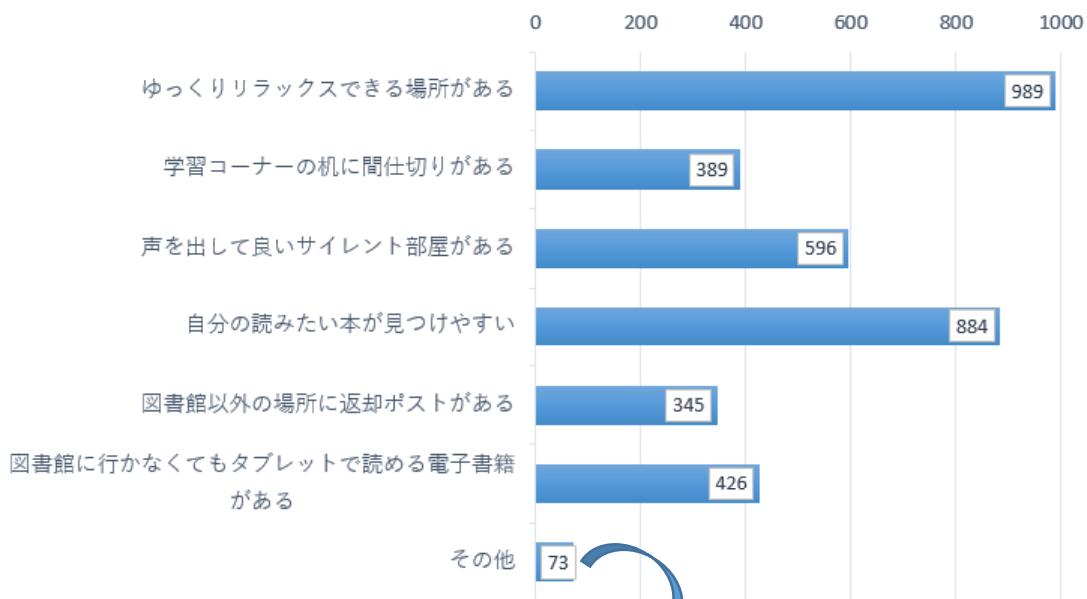
<Q7.考察>

「動画（Youtubeなど）を見るほうが楽しい」が最も多く、次いで「友達と遊びたい」や「マンガを読んだり、ゲームがしたい」など図書館に娯楽がないことや、「図書館に一人で行けない」や「部活や習い事があり行く時間がない」、「学校の図書室で本を借りて読んでいる」などの図書館まで行けない理由が多くなっている。

Q8. 図書館がどんな施設だったら行きたいと思いますか（選択はいくつでも）

Q8.図書館がどんな施設だったら行きたいと思うか

N=3,702



施設	件数
どんな施設だったら行きたい（その他）	
特にない、わからない	15
ゲームができる、遊べる	10
漫画がたくさんある	8
近くに図書館がある	8
飲み食いができる	5
子ども用机、1人スペース	5
好きな本がある	4
わかりやすい案内板	3
静か、音楽が聴ける	2
その他（会話や声出し可能、開館時間の延長、芝生があるといい）	3
行かない、行きたくない、本が嫌いなど	7

<Q8.考察>

「ゆっくりリラックスできる場所がある」が一番多く、次いで「自分の読みたい本が見つけやすい」、「声を出して良いサイレント部屋がある」が多く求められている。

また、次の Q9.意見・要望（あなたが望む図書館のイメージ）で出された意見をもとに総括する。

Q9. その他ご意見・ご要望をお聞かせください（あなたが望む図書館のイメージなどを入力してください）

以下、類似の意見を 11 種類に分け※集計した件数（占める割合）と意見例を列挙します。

※同一人が書いた意見をワードごとに分けた（例：静かで、楽しい図書館、遊べる場所がある⇒

「静かで快適な環境」、「楽しさやワクワク感」、「利便性や設備の充実」

総合計：1, 844 件

【第 1 位】「楽しさやワクワク感」

- ・ 内容：楽しさや行きたいと思う図書館を求める意見
- ・ 件数：377 件（20.4%）
- ・ 例：「楽しい」、「ワクワクする」、「面白い」、「行きたいと思う」

【第 2 位】「静かで快適な環境」

- ・ 内容：静かで落ち着ける環境を求める意見
- ・ 件数：314 件（17.0%）
- ・ 例：「静かな図書館がいい」、「落ち着ける」、「心が安らぐ」、「くつろげる」

【第 3 位】「利便性や設備の充実」

- ・ 内容：利便性や設備の充実を求める意見
- ・ 件数：304 件（16.5%）
- ・ 例：「本が見つけやすい」、「飲食できる」、「個室がある」、「遊べる場所がある」

【第 4 位】「図書の種類や数の充実」

- ・ 内容：本の種類や量を増やすことを求める意見
- ・ 件数：213 件（11.6%）
- ・ 例：「本の種類を増やしてほしい」、「読みたい本を揃えてほしい」

【第 5 位】「現状満足（特にない等）」

- ・ 内容：現状に満足している、特に要望がない意見
- ・ 件数：149 件（8.1%）
- ・ 例：「特にない」、「今までよい」、「満足しています」

【第 6 位】「会話や声出し可能」

- ・ 内容：会話や声出しが可能なスペースを求める意見
- ・ 件数：116 件（6.3%）
- ・ 例：「友達と喋れるスペース」、「騒いでもいい部屋」、「音楽が流れる図書館」

【第7位】「リラックスできる空間」

- ・ 内容：リラックスできる空間を求める意見
- ・ 件数：114件（6.2%）
- ・ 例：「リラックスできる図書館がいい」、「ソファーが欲しい」、「休める」、「広い」

【第8位】「漫画やゲームの充実」

- ・ 内容：漫画の量を増やすことやゲーム・動画を求める意見
- ・ 件数：64件（3.5%）
- ・ 例：「漫画を増やしてほしい」、「ゲームができる」、「動画が見られる」

【第9位】「アクセス・立地」

- ・ 内容：アクセスの改善や近隣での利用を求める意見
- ・ 件数：41件（2.2%）
- ・ 例：「家の近くに図書館が欲しい」、「移動図書館を作ってほしい」

【第10位】「電子書籍・デジタル化」

- ・ 内容：電子書籍やタブレット導入などを求める意見
- ・ 件数：21件（1.1%）
- ・ 例：「電子書籍が利用できるようにしてほしい」、「タブレットで本が読める仕組みが欲しい」

【第11位】「イベントや企画の充実」

- ・ 内容：イベントや季節企画を求める意見
- ・ 件数：20件（1.1%）
- ・ 例：「イベントが多い図書館がいい」、「季節ごとの催しがあれば良い」、「楽しい企画」

【順位から除く】その他諸々少数意見

- ・ 内容：個人的な現在の感想や要望など
- ・ 件数：111件（6.0%）
- ・ 例：「今の図書館は静か」、「今度行ってみたい」、「行ったことがない」、「サイトをわかりやすく」

子どもアンケート結果＜総括＞

アンケートの結果、子どもたちが求めている図書館のイメージを、以下のとおりまとめます。

◆静かでリラックスできる空間

- ・ 静かなエリア：集中して読書や勉強ができる静か落ち着く場所。
- ・ リラックスできる空間：ソファーがあり、休める場所でリラックスできる環境。

◆利便性と設備や機能の充実

- ・ 書架の充実：本が見つけやすい、分類がわかりやすい書架
- ・ 飲食スペース：軽食や飲み物を楽しめる空間
- ・ 交流スペース：大きな声を出して話をしてもいい、交流できる場所
- ・ フリースペース：長時間の読書や勉強に適した1人用の椅子や机のある場所
- ・ 娯楽スペース：楽しめる・遊べる（マンガ・ゲーム、動画見れるなど）場所
- ・ Wi-Fiと電源設備：タブレット（電子書籍）やパソコン使用に対応した設備
- ・ 利用者への対応：小児専用部屋（サイレント部屋）

◆図書の種類や数の充実

- ・ 新たなコンテンツ：漫画を増やす！？、ゲームもできる！？、動画も見れる！？
- ・ 図書の充実：本の種類を増やす、読みたい本が必ずある種類の豊富さ

◆楽しい、ワクワクする場所

- ・ 楽しい場所：いつでも行きたくなる、ワクワクする場所
- ・ イベント：定期的、季節ごと

図書館に求めていることは

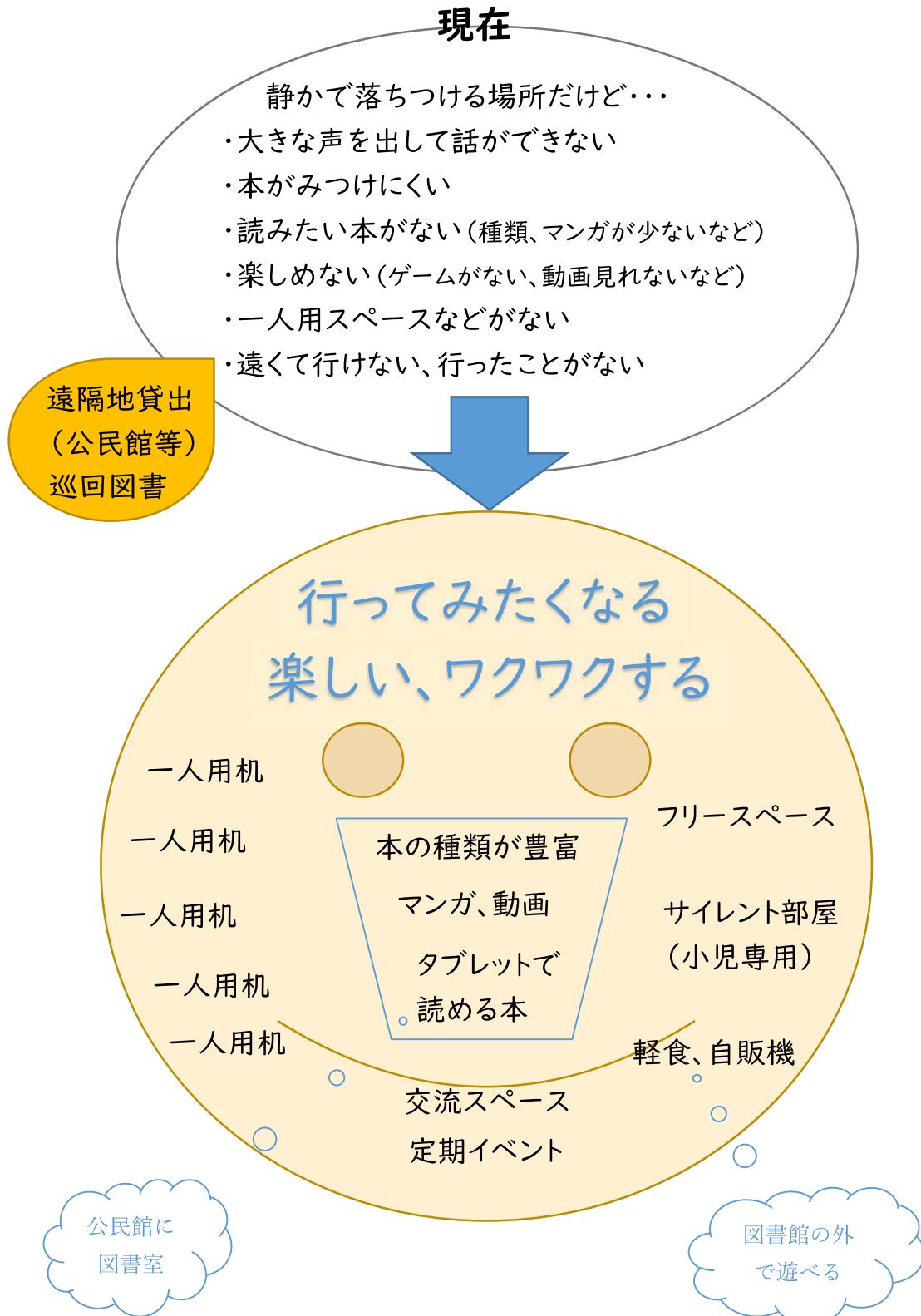
- ・ 静かさと騒がしさのバランスが取れた場所
- ・ 子どもたちの学びや好奇心を育む場所（読みたい本や漫画、ゲーム、動画、電子書籍などがある）

以上が網羅され、楽しくてワクワクする図書館に行きたくなるのではなかろうか

これから図書館は、単に本を借りる場所ではなく、多機能な設備を有することで図書館に来たことがない人々も集い、学び、楽しむことができる、知識や創造性を豊かにし、かつ、コミュニケーションが生まれる場所となることが求められているのではないでしょうか。

論点④ 子どもたちにとっての図書館とは

子どもアンケートの結果<総括>を踏まえ、子どもたちが求めている図書館とは



目指す図書館像（素案）

資料1「第1回、第2回議事録・要点」、資料2「子どもアンケート集計結果と総括」の意見・要望から目指す図書館像（素案）を5つの柱に分類して整理します。

I 子どもたちの学びや好奇心を育む	
	子どもたちが読みたい本を淡窓図書館から借りられる仕組みづくりを提案
	映像（映画）を活用して、読書への興味を引き出す企画を提案
	楽しめる・遊べる（マンガ・ゲーム、動画見れるなど）場所
II 誰もが利用しやすく、行きたくなる	
	保護者が小さい子供を連れて行きやすくなる図書館
	バリアフリーや音も楽しめる環境整備を提案
	学習スペースや個人利用スペースなどスペースの確保
	日田杉を使ったベンチや待合所スペースで人が集まる場づくりを提案
	子どもたちが気軽におしゃべりができる楽しめる環境づくりを要望
	長時間の読書や勉強に適した1人用の椅子や机のある場所
	本の種類を増やす、読みたい本が必ずある種類の豊富さ
III 郷土の歴史と文化の学びを支える拠点	
	図書館を地域づくりの拠点であるべき必要性を主張
	日田特有の歴史・文化を活かした図書館の役割を提案
	アーカイブ（郷土資料のデジタル保存活用）の充実・公表を提案
IV 地域連携やアウトリーチ※1、交流を促進する	
	図書館の分散拠点を日田市内に数か所設置できないか提案
	別の公共施設で講演会など図書館主催事業をやってもいいのではないか
	宿泊施設やカフェ事業所に本を貸して、町全体が淡窓図書館を提案
	子どもや高齢者へ読み聞かせイベントなど、人との触れ合いや交流を深める
	図書館に来れない子どもの理由に焦点を当て、外に出向いて行くべきと主張
	他の分野との連携（例：ひたはしり号で読み聞かせイベント）など、来るきっかけづくりが必要
	地域全体で図書館を活用する取り組みが参考になる＜基山町立図書館＞
	本を入口とせず、他のイベントや活動を通じて図書館への関心を引くことを提案
V デジタル化と情報発信の強化	
	デジタル化と本のバランスの重要性
	郷土資料や図書のデジタル化の必要性を指摘
	SNSで図書館の本の情報をもっと発信したらよい
	タブレット（電子書籍）やパソコン使用に対応した設備

※1 アウトリーチ（図書館サービスが及ばない人々にサービスを広げる活動）

資料4 付録 目指す図書館像(意見整理)

資料1.2	意見・要望	Cd	図書館像の括り
第1回 子どもの勉強スペースの改善と開館時間延長を提案		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
第1回 漫画の導入を提案		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
第2回 子どもたちが読みたい本を淡窓図書館から借りれる仕組みづくりを提案		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
第2回 映像(映画)を活用して、読書への興味を引き出す企画を提案		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
第2回 子どもたちの読書習慣を育てるきっかけづくりが必要		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
子ども 楽しめる・遊べる(マンガ・ゲーム、動画見れるなど)場所		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
子ども 漫画を増やす！？、ゲームもできる！？、動画も見れる！？		I	子どもたちの学びや好奇心を育む
第1回 図書館は「行きたいと思える場所」であるべき		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 子どもや親が利用しやすい環境の整備を提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 保護者が小さい子供を連れて行きやすくなる図書館		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 本棚の配置やスペースの改善を提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 学習スペースに仕切りがあると良い		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 図書館に行く理由がないとの声がある・行く理由があれば、図書館に行くだろう		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 空間照明の改善や書棚の配置、スペースの見直しを提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 勉強しながら話ができるスペースを提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 静かな部屋など内装改善を提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 障害者が利用しやすい図書館の必要性を指摘		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 児童スペースや勉強スペースの配置改善を提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 バリアフリーや音も楽しめる環境整備を提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 学びと出会いの場として、図書館の魅力を高める重要性を強調		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 子ども連れが利用しやすいスペースや設備(消音マットなど)の設置を提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 学習スペースや個人利用スペースなどスペースの確保		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 親子連れが利用しやすいスペースや声を出してもよい時間帯設定などを提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 子どもが声を出しても気兼ねなく利用できる環境が必要		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 日田杉をふんだんに使ったベンチや待合所スペースで人が集まる場づくりを提案		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 子どもたちが気軽におしゃべりができる楽しめる環境づくりを要望		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 利用者層に応じたスペース、集中できる個室の空間など、スペースがキーワード		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 20代～40代の利用者増加を目指し、利便性や職員の接遇を改善する必要性を指摘		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 長時間滞在できる空間作りが高評価を得ている		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第2回 子どもや親子向けのサービス充実が重要である		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 集中して読書や勉強ができる静かで落ち着く場所。		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども ソファーがあり、休める場所でリラックスできる環境。		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 本が見つけやすい、分類がわかりやすい書架		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 軽食や飲み物を楽しめる空間		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 大きな声を出して話をしてもいい、交流できる場所		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 長時間の読書や勉強に適した1人用の椅子や机のある場所		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 小児専用部屋(サイレント部屋)		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども 本の種類を増やす、読みたい本が必ずある種類の豊富さ		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
子ども いつでも行きたくなる、ワクワクする場所		II	誰もが利用しやすく、行きたくなる
第1回 日田杉の活用を提案		III	郷土の歴史と文化の学びを支える拠点
第2回 図書館を地域づくりの拠点であるべき必要性を主張		III	郷土の歴史と文化の学びを支える拠点
第2回 日田特有の歴史・文化を活かした図書館の役割を提案		III	郷土の歴史と文化の学びを支える拠点
第2回 アーカイブ(郷土資料の保存・活用)の充実を提案		III	郷土の歴史と文化の学びを支える拠点
第2回 電子書籍はコスト高だったり児童書が少ない。郷土資料のデジタル化は今後必要であり、県のサーバに格納公開できる		III	郷土の歴史と文化の学びを支える拠点
第1回 校区外の子どもたちが自分たちで図書館に行けない		IV	地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第1回 親に淡窓図書館に連れて行ってもらったことがない		IV	地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第1回 高齢者の利用が難しい現状と移動手段の課題を指摘		IV	地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 図書館の分散拠点を日田市内に数か所設置できないか提案		IV	地域連携やアウトリーチ、交流を促進する

資料4 付録 目指す図書館像(意見整理)

第2回 別の公共施設で講演会など図書館主催事業をやってもいいのではないか	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 図書館に来ない人の声を拾い上げる重要性を強調	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 図書館の職員が地域へ出向く必要性を提案	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 宿泊施設やカフェ事業所に本を貸しだして、町全体が淡窓図書館みたいな形を提案	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 子どもや高齢者へ読み聞かせイベントなど、人と人との触れ合いや交流を深めることをビジョンに盛り込むことを要望	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 学校や保育園と連携し、本の貸し出しを促進する仕組みを提案	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 図書館に来れない校区外子どもの理由に焦点を当て、外に出向いて行くべきと主張	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 他の分野との連携(例:ひたはしり号で読み聞かせイベント)など、来るきっかけづくりが必要	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 分散型図書館の一例として、地域のカフェや商業施設に本を置き、司書的役割を担う店主との連携を提案	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 壁新聞や模型を活用したコミュニティとの協働の事例を提案<福岡県福智町立図書館>	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 地域全体で図書館を活用する取り組みが参考になる<佐賀県基山町立図書館>	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第2回 本を入口とせず、他のイベントや活動を通じて図書館への関心を引くことを提案	IV 地域連携やアウトリーチ、交流を促進する
第1回 デジタル化と本のバランスの重要性	V デジタル化と情報発信力の強化
第1回 読書通帳(電子化)を提案	V デジタル化と情報発信力の強化
第1回 図書館の取組やイベントの周知など情報発信不足ではないか	V デジタル化と情報発信力の強化
第2回 図書館利用者に本の取り寄せサービスを周知していないと感じた	V デジタル化と情報発信力の強化
第2回 郷土資料や図書のデジタル化の必要性を指摘	V デジタル化と情報発信力の強化
第2回 SNSで図書館の本の情報をもっと発信したらよい	V デジタル化と情報発信力の強化
第2回 電子書籍の導入は、紙の書籍と併用するハイブリッド型が現実的	V デジタル化と情報発信力の強化
子ども タブレット(電子書籍)やパソコン使用に対応した設備	V デジタル化と情報発信力の強化

今後のスケジュール

令和 7 年 2 月 6 日(木) 第 3 回日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議
・目指す図書館像(素案)について

令和 7 年 3 月 予定 第 4 回➡書面開催
・前回の素案を加筆・修正し、目指す図書館像(案)

令和 7 年 5 月 日() 第5回日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議
・報告書の構成(案)と目指す図書館像(案)の確認・確定

令和 7 年 6 月 予定 日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議報告書作成
各委員さんへ送付

令和 7 年 7 月 予定 市長、副市長報告
教育委員会報告